

*全国的に新型コロナの第4波のようです。いかがお過ごしでしょうか? 今回はちょっと短いLCAF通信です。

//////// I N D E X //////////////////////////////////////

- ・ISO情報……………ISO14068 (カーボンニュートラリティ) のWD1が出ました。
- ・LCAFからお知らせ…オンラインセミナー「カーボンニュートラリティと削減貢献量」開催
- ・編集後記……………教科書に関する2題です。

■■ ISO情報 ■■ —————

○: ISO14068 (カーボンニュートラリティ) のWD1が出ました。

昨年からカーボンニュートラリティの国際標準規格を作る作業が始まっています。5月9日にたたき台であるワーキングドラフトが出ました。SCOPE1,2で削減し、それでも残るレジデュアルカーボン(残余炭素)を、他で削減したクレジットを購入してオフセットすることになっています。6月中旬までに各国がコメントを出し、次の会合で新しい規格の原案を作ることになります。製品の削減貢献量(Avoided Emission)は、Appendixに実施する時の注意が書かれています。私は、イノベーティブな製品開発を促進するためには、削減貢献量の算定が必要と思うのですが、削減貢献量が嫌いな人もいますので、このままAppendixが残るかどうかが心配です。

■■ LCAFからのお知らせ ■■ —————

○オンラインセミナー「カーボンニュートラリティと削減貢献量」を開催します。

最近、カーボンニュートラリティに向けて「GHG排出削減貢献量」を算定する企業が増えています。このセミナーでは、削減貢献量の算定ガイドライン、各社の事例などを解説します。また、削減貢献量の算定に批判的な人がいる理由も分析します。全4回、2日間(2021年6月17日(木)と18日(金))、一般6,000円/1回(コース料金20,000円)です。詳細とお申し込みは、<<https://lcaf.or.jp/lcaf-seminar202106.html>>をご覧ください。

■■ 編集後記 ■■ —————

○工業高校の教科書を勉強しました。

若い友人が工業高校の先生になりました。担当する「地球環境化学」の教科書(実教出版)を教えてもらいました。大気汚染・酸性雨・温室効果ガスなどの「地球環境(第2章)」や、脱硫・脱硝・排水処理などの「環境の保全技術(第5章)」に続いて、「持続可能な社会構築の仕組み(第7章)」があって、PDCAサイクルのISO14001や製品のライフサイクルアセスメント(LCA)が書かれています。私達が書いた「LCAの実務(2005年産業環境管理協会発行)」の図が引用されていました。工業高校の生徒はLCAを勉強するんですね。普通科や商業科などでもLCAを教えているのでしょうか? LCAF通信の若い読者の皆さんの経験を教えてください。また、お子様やお孫さんに聞いてみてください。

○新しい教科書の作成に着手しました。

「演習で学ぶLCA: ライフサイクル思考から、LCAの実務まで(2014年初版発行)」の内容を見直す作業を始めました。この本は、私が2001年から7年間務めた「産業技術総合研究所のLCA研究センター」の仲間を中心に、大学初学年向けのLCAの教科書として発行したのですが、LCAFやLCA日本フォーラムの初級研修の教科書としても使われています。書き直すところを洗い出す作業から始めています。この教科書を読んだことがある方は、削除する方が良い節や、追加する内容など、ご意見をください。来年春の発行を目指します。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見、ご感想、本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構
Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)
(エルカフと呼んで(読んで)ください)
〒71-0014 東京都豊島区池袋 2-36-1
インフィニティ池袋 8F52
電子メール : lcaf-contact@lcaf.or.jp
URL:<https://lcaf.or.jp/>